

記者発表資料

平成24年6月28日

公益財団法人 横浜企業経営支援財団

経営支援部長 長谷部 亮

YOKOHAMA METALWORKING SOCIETY 2012

本研究会は、横浜市内の「ものづくり産業」の基盤である「金属加工」を対象として、加工の高付加価値化や技能継承の効率化、技術課題の解決、人脈づくりなどを図るという、実務に役立つ活動を展開することで企業の競争力を高めて頂くことを目的としています。本年度の講演では、**先端加工技術の研究・開発者や発明者、加工上の難問を解決した実績のある技術者や経営者を「加工の語り部」として、他では聴けない「とっておきの加工ノウハウ」や「成功の秘訣」、「失敗の教訓」などをお話頂きますので、ご期待ください。**横浜・京浜地域の金属加工関連企業、ものづくり中小企業の経営者・後継者、従業員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

IDEC
YOKOHAMA

第185回
産学交流
サロン

横浜の“先進ものづくり”に加工技術の進むべき道を探る！

■講演① 15:00~16:00

海洋研究開発機構 海洋工学センター 土屋 利雄氏

海洋大国日本における海洋開発と中小企業への期待

トピックス

- ・“海洋大国＝資源大国”となった日本に必要な深海域調査
- ・海洋開発機器類の開発・製造への参入のポイント
- ・8000m級深海探査機“江戸っ子1号”とは？

水中音響機器(ソナー)や深海用TVカメラを開発し、深海底の遺失物捜査でも成果をあげてきた研究者が、海洋開発機器類の開発・製造の実際について、最近話題の“江戸っ子1号”を例に講演します。



■講演② 16:20~17:20

横浜国立大学大学院 工学研究院 篠塚 淳氏

高速・超高速切削現象に関する研究成果と今後の課題

トピックス

- ・高速・超高速切削過程の動的FEM切削シミュレーション
- ・鉛を被削材とした超高速切削実験
- ・アルミや焼結鋼を被削材とした高速切削実験

切削速度が被削材の塑性波伝播速度を超える場合を超高速切削と定義し、切削速度の上昇につれて切削機構がどのように変化するかを幾つかの素材を被削材として体系的に調べた結果を講演します。ここではFEM切削シミュレーションによる予測、空気銃型の高速衝撃切削試験機を用いた切削速度160m/s(9600m/min)程度までの試験で得られた切削現象について講演します。



【日時】：平成24年7月20日(金) 15:00~17:30

【会場】：横浜企業経営支援財団 大会議室 横浜市中区太田町2-23
(横浜ステイブイビル302号7F)

【参加費】：2,000円/1名(当日会場で申し受けます)

主催 (公財)横浜企業経営支援財団

お問合せ先 経営支援部技術支援課 TEL:045-225-3733 FAX:045-225-3738
<http://www.idec.or.jp> ★HPからも、お申し込みできます★

キックオフサロン

横浜・金属加工研究会

2012

■第185回産学交流サロン 参加申込書■

氏名 (ふりがな)

所属・役職名

企業名

事業内容

所在地〒

TEL

FAX

E-Mail



横浜型地域貢献企業 (口にチェックをつけてください) ※認定企業は参加費が半額となります

※ご記入いただいた個人情報は、内部資料(参加者向け)を作成する目的、財団からの各種案内を送付する目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません